

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語科 科目 論理・表現 I

教科： 外国語科 科目： 論理・表現 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ E 組

教科担当者： (A組： ) (B組： ) (C組： ) (D組： ) (E組： )

使用教科書： ( APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I )

教科 外国語科 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて外国語で情報や考えなどの要点などを理解し、これを活用して表現したり、伝えたりすることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基本的な音声構造や文法構造、言語の働きを理解する。さらに獲得した知識を実際のコミュニケーションの場で適切に活用できる。	様々な場面や状況で得られる情報をつかみ、聞き手や読み手への配慮を行いながら、自分の言葉で表現をすることができる。	積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。また生涯にわたって外国語の習得に継続して取り組もうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
		聞	読	話 〔 や 〕	書							
1 学 期	A 文の種類、否定文、疑問文 【知識及び技能】 中学校で学習した文構造や否定文、疑問文など文法事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの様々なことについて、自分の経験や考えを聞き手に分かりやすく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの様々なことについて、自分の経験や考えを聞き手に積極的に	【指導項目】 教科書Pre-Lesson				○				○	○	5
	B 現在と過去を表す表現 【知識及び技能】 現在形と過去形、進行形の基本構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身につけた基本時制の文を用いて相手に意見を伝えることができる。時制を意識して文を読んだり、書いたり、話したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的、自律的に学習し、学習した文の種類を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	【指導項目】 教科書Lesson1 Workbook Lesson1					○			○	○	5
	定期考査									○	○	1
	C 未来を表す表現 【知識及び技能】 未来を表す助動詞will やbe going to、現在形、進行形の構造やそのニュアンスを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 未来を表す表現を用いて自身の経験などを相手に適切に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に経験を発表したり、また他者の経験を聞こうとしている。	【指導項目】 教科書Lesson2 Workbook Lesson2					○			○	○	4
	D 助動詞 【知識及び技能】 助動詞の基本的な意味を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞を適切に用いてパートナーに自分のことを適切に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に自身のことについて、パートナーと会話を続けようとする。	【指導項目】 教科書Lesson3 Workbook Lesson3					○			○	○	4
E 完了形 【知識及び技能】 現在完了、過去完了、未来完了の構造やそのニュアンスを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 完了形を用いて自身の経験などを相手に適切に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に経験を発表したり、また他者の経験を聞こうとしている。	【指導項目】 教科書Lesson4 Workbook Lesson4								○	○	5	
定期考査									○	○	1	

